

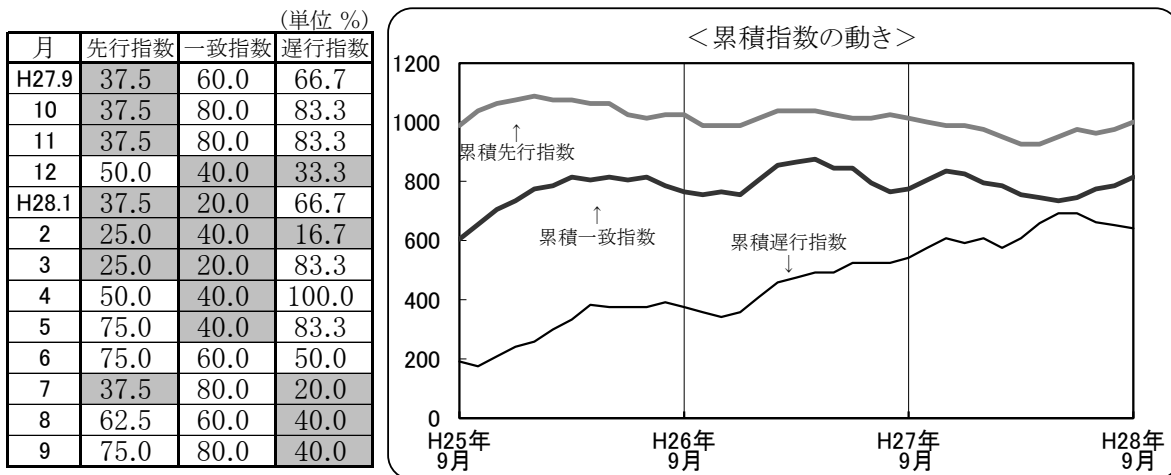
7 山梨県景気動向指数(DI) 平成28年9月分

平成28年11月30日公表

景気の現状を示す**一致指数**は、「鉱工業生産指数(鉱工業)」や「県立美術館・富士山世界遺産センター来館者数」が引き続きプラスであったこと等から 80.0%となり、4 か月連続で50%を上回りました。

景気の先行きを示す**先行指数**は、2 か月連続で50%を上回りました。

景気に遅れて動きを示す**遅行指数**は、3 か月連続で50%を下回りました。



(注1) 累積指数グラフは、景気の局面や山・谷を視覚的にとらえることができます。ただし、グラフ上の山の大きさや高さは景気の強弱や水準とは無関係です。なお、累積指数は各月のDI指数を次式により累積したものです。

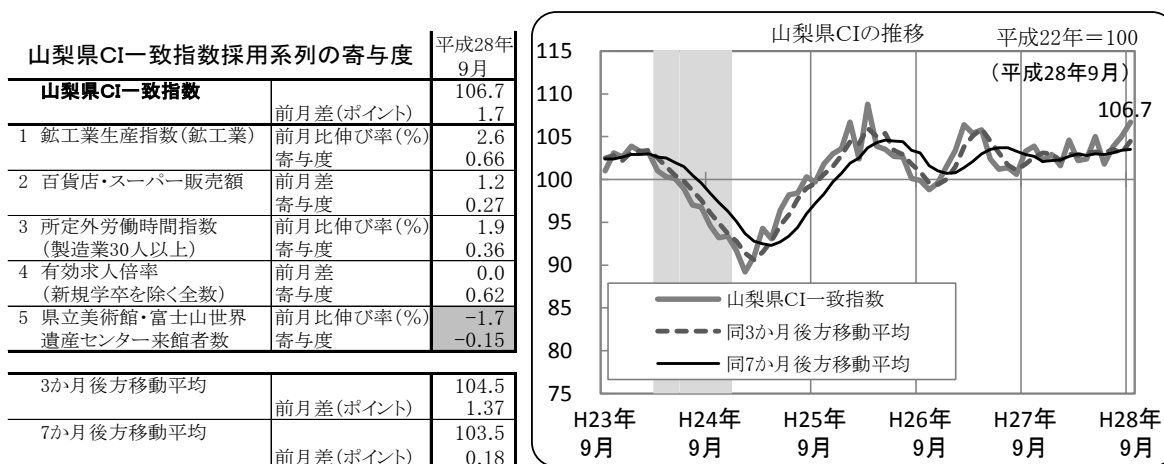
累積DI=前月までの累積DI+(当月のDI-50)

(注2) グラフを見やすくするため、先行指数は600、一致指数は300を加算しています。

(注3) グラフ中の山・谷は内閣府発表による全国の景気基準日付です。また、網かけ部分は、景気後退期を示しています。

<参考>山梨県CI(一致系列)

9月の山梨県CI一致指数(H22=100)は、106.7となり、前月と比較して1.7ポイント上昇し、3か月連続の上昇となりました。3か月後方移動平均は1.64ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇、7か月後方移動平均は0.3ポイント上昇し、3か月連続の上昇となりました。



寄与度=山梨県CIの前月からの変化(前月差)が、各採用系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

山梨県CI一致指数 時系列表

西暦	和暦	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2014	H26	106.7	102.4	108.8	103.9	103.5	102.7	102.6	100.1	99.9	98.8	99.6	101.5
2015	H27	103.4	106.4	105.4	105.8	102.4	101.2	101.4	100.6	103.3	103.9	102.2	102.9
2016	H28	101.6	104.6	102.2	102.4	105.0	101.8	103.8	105.0	106.7			